

実施募集要項

医療法人社団豊生会では、平成 24 年 4 月 1 日に施行された改正「社会福祉士及び介護福祉士法」に基づき、在宅や高齢者施設等において喀痰吸引等を必要とする利用者に対して、医師・看護師と連携し、適切にたん吸引等を行うことができる介護職員等を育成するための研修を下記により開催いたします。

1. 研修実施機関

実施機関名：「豊生会 介護教育室」（登録研修機関 No.0120020）

所在地：〒062-0804 札幌市東区東苗穂 3 条 1 丁目 2 番地 18

連絡先：豊生会本部 介護教育室

研修担当 堀 良子

TEL.011-781-8800 FAX.011-781.8822

E-mail ryoko_hori@houseikai.or.jp

2. 研修実施について

1) 研修事業の名称

介護職員等によるたん吸引等実施のための研修

第 1・2 号研修（不特定多数の者対象：実地研修のみを含）

2) 実施期間及び場所

別表 1.『平成 30 年 研修の実施期間・会場』の通り

実地研修のみ受講(基本研修免除)の場合も、安全な実地研修の実施のために基本研修に準じた医療的ケアに関する知識及び技術の復習により、自身の習得状況を把握していただきます。

※ **第一・二号研修の詳細はこちらの別表 2.『研修カリキュラム』をご確認ください**

3) 受講資格

下記の全てに該当する方。

- ① 札幌市内及び札幌近郊に所在する事業所や施設に所属し、たんの吸引等を行う予定の介護職員。
- ② すべてのカリキュラムを受講できること。
- ③ 受講生の所属する施設等にて実地研修を行うことができること。
- ④ 1 年以上の介護業務の実務経験があること。
- ⑤ ①～④すべてに該当し、事業所長が当該研修の受講者として推薦される方。
- ⑥ 実地研修のみ受講の場合、基本研修免除の証明資料を提出できること。

尚、③実地研修場所の確保が難しい方や⑤所属事業所を持たない等で推薦を得られない方は、当機関において審査の上で受講を決定するため事前にご相談ください。

4) 受講定員

各回ともに 20 名（応募多数の場合選考有り）

3. 受講申し込みについて

1) 受講料

◇ 第一号・第二号研修

① 基本研修

: 80,000 円（消費税込み）※下記テキスト代が別途必要となります。

□ 喀痰吸引等の研修に関するテキスト

「改訂 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養研修テキスト」

発行：中央法規出版 **2016.3.25 第 2 刷発行**(販売価格：2160 円税込み)

② 実地研修

: 40,000 円（消費税込み）

◇実地研修のみ受講（基本研修免除者）

受講内容（第一号研修・第二号研修の行為数等）により減額いたします。

詳しくは、お問い合わせください。

2) 支払い方法

受講決定後、指定口座へ振り込み

3) 解約・返金

研修開始前日までの受講中止の申し出者に対し、研修受講料を返金します。

4) 受講申し込みの手続き

募集期限迄に、下記の書類を添えて申し込み先まで郵送にて申し込む

(1)様式①「受講申込書」

(2)様式②「受講者調書」

※豊生会施設以外で実地研修を行う方は、

(3)様式③「実地研修先確認書」

様式②～④を併せて提出願います。

(4)様式④「実地研修実施機関承諾書」

(5)様式⑤「基本研修免除申請及び実地研修受講申込書」

5) 申し込み先

〒062-0802 札幌市東区東苗穂 3 条 1 丁目 2 番地 18 TEL.011-781-8800

豊生会本部 介護教育室「たんの吸引等研修担当宛」

6) 募集案内及び募集日程

募集案内：

① 介護老人保健施設ひまわりホームページ

② 特別養護老人ホームひかりのホームページ

③ 法人広報誌「にじいろネットワーク」

募集日程：

研修種別	受付開始	受付期限(当日必着)
A 実地研修のみ(基本研修免除者) ①	4月3日(火曜日)	4月24日(火曜日)
A 実地研修のみ(基本研修免除者) ②	7月17日(火曜日)	8月7日(火曜日)
A 実地研修のみ(基本研修免除者) ③	9月25日(火曜日)	10月16日(火曜日)
B 基本研修(第一号・二号研修) ①	5月1日(火曜日)	5月22日(火曜日)
B 基本研修(第一号・二号研修) ②	8月29日(水曜日)	9月19日(水曜日)

4. 研修カリキュラムについて

1) 研修課程

<第1号研修> 50時間の講義と喀痰吸引及び経管栄養の5行為の演習

<第2号研修> 50時間の講義と任意の1行為以上の演習

<実地研修のみ(基本研修免除)の場合>

知識・技能の復習及び第1号は5行為、第2号は任意の行為の演習

2) カリキュラム表

【B基本研修：第1・2号研修】

種別	科目名	実施時間
基本研修 (講義)	1. 人間と社会	1.5時間
	2. 保健医療制度とチーム医療	2.0時間
	3. 安全な療養生活	4.0時間
	4. 清潔保持と感染予防	2.5時間
	5. 健康状態の把握	3.0時間
	6. 高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論	11.0時間
	7. 高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説	8.0時間
	8. 高齢者及び障害児・者の経管栄養概論	10.0時間
	9. 高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順解説	8.0時間
基本研修 (演習)	1. 口腔内の喀痰吸引	5回以上
	2. 鼻腔内の喀痰吸引	5回以上
	3. 気管カニューレ内部の喀痰吸引	5回以上
	4. 胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	5回以上
	5. 経鼻経管栄養	5回以上
	6. 救急蘇生法	1回以上
筆記試験	全課程終了後に実施	

【A 実地研修のみ（基本研修免除）振返り学習】

種別	科目名	実施時間
復習 習得知識の	1.習得知識の確認	30分
	2.チーム医療について	20分
	3.安全な療養生活になる場合	30分
	4.感染防止	50分
	5.健康状態の把握	40分
	6.事例検討	90分
	7.喀痰吸引・経管栄養実施手順解説	140分
復習(演習) 習得技能の	口腔内の喀痰吸引	5回以上
	鼻腔内の喀痰吸引	5回以上
	気管カニューレ内部の喀痰吸引	5回以上
	胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	5回以上
	経鼻経管栄養	5回以上

基本研修又は復習の全課程修了後、実地研修実施機関にて実地研修を所定回数行います。

種別	科目名	所定回数	備考
実地研修	口腔内の喀痰吸引	10回以上	第1号研修は左記5行為 第2号研修は任意の行為
	鼻腔内の喀痰吸引	20回以上	
	気管カニューレ内の喀痰吸引	20回以上	
	胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	20回以上	
	経鼻経管栄養	20回以上	

実地研修期間は、基本研修全課程終了日から平成31年3月中旬までとし、実地研修の実施報告書の提出を完了するものとします。

5. 受講にあたっての注意事項等

1) 遅刻・早退・欠席の取り扱いについて

① 遅刻：原則認めません。

但し、やむを得ない事情（要証明書等）がある場合、20分まで認めます。

② 早退：原則認めません。

但し、やむを得ないと判断できる場合、20分前まで認める。

③ 欠席：やむを得ないと判断できる場合、講義科目で2日を限度として認めます。

2) 受講者選考について

受け付けは先着順ではありません。

研修受講が適正と認められた方を受講可とします。

申し込みが定員を超える場合、研修受講の優位性について豊生会喀痰吸引等研修実施委員会に於いて協議の上、受講を決定いたしますので予めご了承願います。

3) 補講・補習について

補講・補習は下記要領にて、実施いたします。

① 補講・補修方法：

講義：遅刻・早退及び欠席した当該科目を次回研修開催時に補講する。

補習：当該研修開催期間中に1日間補講する。

② 補講・補習費用と徴収方法：

補講：無料

補習：1時間につき、5,400円税込（補習当日、現金払い）

4) 受講の取り消しについて

次に該当する者は、受講を取り消す場合があります。

- ・受講料を指定日までに納入しないとき
- ・受講開始後の講義(50時間)出席率が80%に満たないとき
- ・他の受講者に対し、著しく不利益を与えたとき

5) 研修修了後の手続きについて

全課程修了者に対し、豊生会が発行する「修了証」を各自にて北海道に申請することにより、「認定特定行為業務従事者認定証」の交付が受けられます。

6) 評価方法について

社会福祉士及び介護福祉士法施行規則別表第1及び第2号研修の修得程度の審査方法について定められ方法（別添.）により行います。

7) 修了認定の方法について

全講義受講後、筆記試験により知識の定着が確認されたこと及び、評価による技術習得（基本研修：演習評価及び実地研修評価.）の確認ができた者を修了認定します。

<筆記試験>

形式：四肢択一式 設問数40問（60分間）

評価基準	90%以上：合格
(筆記試験)	89～70%：再試験（有料）
	69%以下：不合格（再受講）

※再試験は1回実施予定で、有料（3,240円税込）となります。

本試験に対し、欠席及び遅刻は原則認めません。但し、やむを得ない理由と判断された場合には、再試験（有料3,240円）の受講資格を有するものとします。

6. 安全な研修実施に関する事項

1) 安全管理体制：

実地研修における事故対応は、実習施設である介護老人保健施設ひまわりの「医療安全管理委員会」規定に則り、医師・看護師等の協力の下で安全に実施できる体制により対応します。

2) 実地研修に掛かる保険加入：

実地研修中に発生した偶発的な事故に起因した損害に備え、施設・事業所及び受講者を対象に損害賠償保険に必ず加入していただきます。

7. 個人情報の取扱いについて

申込書等に記載の個人情報については適正な管理を行い、本研修の運営及び実地研修における記載事項の紹介を北海道にする場合を除き、関係業務以外の目的に利用することは一切行いません。

8. 研修期間中のお願い

1) 研修会場及び交通機関

① 会場への来場は、公共交通機関の利用を原則とします。

② 交通経路：

(1)地下鉄南北線麻生行「北 24 条駅」下車 4 番出口→中央バス東 70 番東営業所行き「伏古 7 条 5 丁目」下車→老健ひまわり(信号を渡りバス通り側より入る)

(2)地下鉄東豊線栄町行「元町駅」下車 5 番出口→中央バス東 70 番東営業所行き「伏古 7 条 5 丁目」下車→老健ひまわり

③ やむを得ない理由により自家用車の利用を希望する場合は、研修申し込み用紙にその旨ご記入ください。

自家用車の利用可否及び利用方法については、受講決定通知にてお知らせいたします。ご利用の際は後日配布の「駐車場利用基準」に従ってご利用ください。

④ 基本研修の会場は、介護老人保健施設ひまわり内の会議室であることから、休憩時間等において施設利用者等への配慮をお願いします。

2) 電話・面会について

受講中は携帯電話の電源を切るかマナーモードにさせていただきます。

受講者への面会や電話の取次ぎは、原則行ないません。

3) その他

① 昼食は各自にてご準備願います。

研修会場は飲食可能ですが、ゴミは各自お持ち帰りください。

② ご本人確認を行う場合がありますので、初日は保険証など本人確認できるものをご持参ください。

③ 研修期間中は、一切の録音・写真撮影は禁止いたします。

(研修機関としては、実施記録として撮影する場合があります)

④ 手荷物並びに貴重品の管理は、各自行ってください。

9. 当該研修に係る苦情窓口

医療法人社団 豊生会本部 介護教育室

電話：011-781-8800

担当：近江谷

別表 1. 平成 30 年 研修の実施日・会場

A 実地研修のみ（基本研修免除の方）の研修

区 分		1.研修内容の説明 講義： 2.修得知識の確認と復習 3.修得技術の確認と復習	シュミレーターに対し 演習： 実際の医療器材器具を使用し グループごとの日程で実施
研修内容		1.オリエンテーション 2.医療的ケアに関する知識の復習 3.吸引・栄養のデモンストレーション演習	1.口腔内吸引 2.鼻腔内吸引 3.気管カニューレ内部の吸引 4.胃ろう又は腸ろうによる経管栄養 5.経鼻経管栄養 6.その他任意の行為(半固形栄養剤等)
研 修 開 催 回 日 程	第 一 回	平成 30 年 5 月 8 日 (火曜日) 9 : 00 ~ 17 : 30 (受付 : 8 : 30 ~)	①グループ : H30 年 5 月 9 日(水曜日) ②グループ : H30 年 5 月 10 日(木曜日) ③グループ : H30 年 5 月 15 日(火曜日) ④グループ : H30 年 5 月 16 日(水曜日)
	第 二 回	平成 30 年 8 月 21 日 (火曜日) 9 : 00 ~ 17 : 30 (受付 : 8 : 30 ~)	①グループ : H30 年 8 月 22 日(水曜日) ②グループ : H30 年 8 月 23 日(木曜日) ③グループ : H30 年 8 月 28 日(火曜日) ④グループ : H30 年 8 月 29 日(水曜日)
	第 三 回	平成 30 年 10 月 30 日 (火曜日) 9 : 00 ~ 17 : 30 (受付 : 8 : 30 ~)	①グループ : H30 年 10 月 31 日(水曜日) ②グループ : H30 年 11 月 1 日(木曜日) ③グループ : H30 年 11 月 2 日(金曜日) ④グループ : H30 年 11 月 3 日(土曜日)
終了時間		講義 : カリキュラム内容にて異なる (最長 17 : 40) 演習 : 受講生の習得状況にて異なる (最終 17 : 00)	
会場 : 介護老人保健施設 ひまわり 会議室			

※演習は受講者数等により 2 日間になる場合があります。

グループ分けと日程は、受講決定通知書にてお知らせいたします。

※実地研修場所は、「実地研修実施機関承諾書」提出施設となります。

B 基本研修（第一号・第二号研修）

区分	講義：50時間	シュミレーターに対し 演習：実際の医療器材器具を使用し グループごとの日程で実施	
研修内容	別表2. 「基本研修カリキュラム日程表」参照 ※デモンストレーション演習は、 2つのグループに分かれて実施	1.口腔内吸引 2.鼻腔内吸引 3.気管カニューレ内部の吸引 4.胃ろう又は腸ろうによる経管栄養 5.経鼻経管栄養 6.その他任意の行為(半固形栄養剤等)	
研修 開催 日程	第一 回	講義：《全8日間》 平成30年6月5日(火)～6月6日(水) 平成30年6月12日(火)～6月14日(木) 平成30年6月19日(火)～6月21日(木) *開始・終了時間は カリキュラムにより異なる	演習：9:00～(受付：8:30～) ①グループ：平成30年6月26日(火) ②グループ：平成30年6月27日(水) ③グループ：平成30年6月28日(木) ④グループ：平成30年6月29日(金) *終了時間は 受講生の習得程度により異なり 最終は17:00
	第二 回	講義：《全8日間》 平成30年10月3日(水)～10月5日(金) 平成30年10月9日(火)～10月11日(木) 平成30年10月15日(月)～10月16日(火) *開始・終了時間は カリキュラムにより異なる	演習：9:00～(受付：8:30～) ①グループ：平成30年10月18日(木) ②グループ：平成30年10月19日(金) ③グループ：平成30年10月22日(月) ④グループ：平成30年10月23日(火) *終了時間は 受講生の習得程度により異なり 最終は17:00
	筆記 試験	※ 基本研修全カリキュラム終了後に実施	
	第一回 平成30年7月2日(月) 9:00～10:00(受付：8:30～)	第二回 平成30年10月26日(金) 9:00～10:00(受付：8:30～)	
会場：介護老人保健施設 ひまわり 会議室			

※演習は受講者数等により2日間になる場合があります。

グループ分けと日程は、受講決定通知書にてお知らせいたします。

※実地研修場所は、「実地研修実施機関承諾書」提出施設となります。

別表2-1.

平成30年度 介護職員等による喀痰吸引等研修 カリキュラム
(不特定多数の者対象)

【 基本研修 (講義) 】

	科目名	時間数
第Ⅰ部	1.介護職員と医療的ケア	0.5
第1章 人間と社会	2.介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度	1
第2章 保健医療制度と チーム医療	1.保健医療に関する制度	1
	2.医療的行為に関する法律	0.5
	3.チーム医療と介護職員との連携	0.5
第3章 安全な療養生活	1.喀痰吸引や経管栄養の安全な実施	2
	2.救急蘇生法:(演習1回以上)	2
第4章 清潔保持と 感染予防	1. 感染予防	0.5
	2.職員の感染予防	0.5
	3.療養環境の清潔、消毒法	0.5
	4.滅菌と消毒	1
第5章 健康状態の把握	1.身体・精神の健康	1
	2.健康状態を知る項目(バイタルサインなど)	1.5
	3.急変時について	0.5
第Ⅱ部	1.呼吸のしくみとはたらき	1.5
第1章 高齢者及び 障害児・者の喀痰吸引 概論	2.いつもと違い呼吸状態	1
	3.喀痰吸引とは	1
	4.人工呼吸器と吸引	2
	5.子どもも吸引について	1
	6.吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応説明と同意	0.5
	7.呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)	1
	8.喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認	1
	9.急変、事故発生時の対応と事前対策	2
	第2章 高齢者及び 障害者・児の喀痰吸引 実施手順解説	1.喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持
2.吸引の技術と留意点		5
3.喀痰吸引にともなうケア		1
4.報告および記録		1

第Ⅲ部 第1章 高齢者及び 障害者・児の経管栄養 概論	1.経管栄養のしくみとはたらき	1.5
	2.消化・吸収とよくある消化器の症状	1
	3.経管栄養とは	1
	4.注入する内容に関する知識	1
	5.経管栄養実施上の留意点	1
	6.子どもの経管栄養について	1
	7.経管栄養に関する感染と予防	1
	8.経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応説明と同意	0.5
	9.経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認	1
	10.急変、事故発生時の対応と事前対策	1
第2章 高齢者及び 障害者・児の経管栄養 実施手順解説	1.経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	1
	2.経管栄養の技術と留意点	5
	3.経管栄養に必要なケア	1
	4.報告および記録	1
合計講義時間数		50

【 基本研修（演習） 】

実施ケア等の種類		実施回数
喀痰吸引	痰吸引(口腔内)	5回以上
	痰吸引(鼻腔内)	5回以上
	痰吸引(気管カニューレ内部)	5回以上
経管栄養	経管栄養(胃ろう又は腸ろう)	5回以上
	経管栄養(経鼻経管)	5回以上
救急蘇生法		1回以上

【 実地研修（第1号・第2号研修） 】

実施ケア等の種類		実施回数
喀痰吸引	たん吸引(口腔内)	10回以上
	たん吸引(鼻腔内)	20回以上
	たん吸引(気管カニューレ内)	20回以上
経管栄養	経管栄養(胃ろう)	20回以上
	経管栄養(腸ろう)	20回以上

別表2-2.

平成30年度 介護職員等による喀痰吸引等研修 カリキュラム
(不特定多数の者対象)

【 実地研修のみ(基本研修免除) 】

科目の復習

科目名		時間数
習得知識の確認	1) 筆記試験	・○×問題 30分 ・自己採点 15分
	科目の復習	
科目の復習	1) 保健医療体制とチーム医療	・法令遵守と医療連携 30分
	2) 安全な療養生活	・喀痰吸引や経管栄養の安全な実施 30分
	3) 清潔保持と感染予防	・感染予防の基本と清潔・消毒の実際 30分
	4) 健康状態の把握	・健康の理解と観察の実際 30分
	5) 医行為実施により生じる危険と安全確認	【演習 ① ヒヤリハット事例演習】 90分
	6) 事故発生時の対応と事前対策	
技術の復習	1) 喀痰吸引の実施手順解説 2) 経管栄養の実施手順解説	【演習 ② シミュレータによる演習】 120分

【 演 習 】

技術の復習

実施ケア等の種類	実施回数
喀痰吸引	痰吸引(口腔内) 5回以上
	痰吸引(鼻腔内) 5回以上
	痰吸引(気管カニューレ内部) 5回以上
経管栄養	経管栄養(胃ろう又は腸ろう) 5回以上
	経管栄養(経鼻経管) 5回以上

【 実地研修 (第1号・第2号研修) 】

実施ケア等の種類	実施回数
喀痰吸引	たん吸引(口腔内) 10回以上
	たん吸引(鼻腔内) 20回以上
	たん吸引(気管カニューレ内) 20回以上
経管栄養	経管栄養(胃ろう) 20回以上
	経管栄養(腸ろう) 20回以上

平成30年度 基本研修(第一回)カリキュラム日程表

【基本研修】

(講義)

会場:介護老人保健施設 ひまわり 会議室 又は 東苗穂病院 会議室

月 日	時 間	科 目		時間数 (h)	
		大 項 目	中 項 目		
第1日目 6月5日 (火)	9:00	◇ 受付	名札配布・テキスト販売		
	9:30	◇ オリエンテーション	受講に当たっての留意事項(資料配布)		
	10:30	《第Ⅰ部 総論》 第1章 人間と社会			
		1.介護職員と医療的ケア		0.5	
	12:00	2.介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係わる制度		1.0.	
	昼食60分				
	13:00	第2章 保健医療制度とチーム医療			
	1.保健医療に関する制度		1.0.		
	2.医療的行為に係る法律		0.5		
	3.チーム医療と介護職員との連携		0.5		
	第3章 安全な療養生活				
17:10	1.喀痰吸引や経管栄養の安全な実施		2.0.		
第2日目 6月6日 (水)	9:00	第4章 清潔保持と感染予防			
		1.感染予防		0.5	
		2.職員の感染予防		0.5	
		3.療養環境の清潔、消毒法		0.5	
		4.滅菌と消毒		1.0.	
		第5章 健康状態の把握			
12:40	1.身体・精神の健康		講義0.		
昼食60分					
13:40	2.健康状態と知る項目 (バイタルサインなど)		1.5		
	3.急変状態について		0.5.		
	《第Ⅱ部 喀痰吸引》				
	第1章 高齢者及び障害者・児の喀痰吸引概論				
17:20	1.呼吸のしきみとはたらき		1.5		
第3日目 6月12日 (火)	9:00	2.いつもと違う呼吸状態		1.0.	
		3.喀痰吸引とは		1.0.	
		6.吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応説明と同意		0.5	
	12:40	7.呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)		1.0.	
	昼食60分				
13:40	8.喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認		1.0.		
16:50	9.急変・事故発生時の対応と事前対策		2.0.		

第4日目	6月13日 (水)	9:00	4.人工呼吸器と吸引	2.0.
		12:10	5.子どもの吸引について	1.0.
		昼食60分		
		13:10	<p style="text-align: center;">《第Ⅰ部 総論》 第1章 人間と社会</p> <p style="text-align: center;">第3章 安全な療養生活</p>	2.0. (1回以上)
		17:20	2.救急蘇生法(演習)	
第5日目	6月14日 (木)	9:00	<p style="text-align: center;">第2章 高齢者及び障害者・児の喀痰吸引実施手順解説</p> 1.喀痰吸引で用いる用具・器材とそのしくみ、清潔の保持 3.喀痰吸引に伴うケア	1.0. 1.0.
		12:10	4.報告および記録	1.0.
		昼食50分		
		13:00	2.吸引の技術と留意点①	3.0.
				<p style="text-align: center;">《第Ⅲ部 経管栄養》</p> <p style="text-align: center;">第1章 高齢者及び障害者・児の経管栄養概論</p>
		17:40	1.消化器系器官のしくみとはたらき	1.5
第6日目	6月19日 (火)	9:00	2.消化・吸収とよくある消化器の症状 3.経管栄養とは	1.0. 1.0.
		12:10	4.注入する内容に関する知識	1.0.
		昼食50分		
		13:00	5.経管栄養実施上の留意点 6.子どもの経管栄養について 7.経管栄養に関する感染と予防 8.経管栄養を受ける利用や家族の気持ちと対応、説明と同意	1.0. 1.0. 1.0. 0.5
		17:40	9.経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認	1.0.
第7日目	6月20日 (水)	9:00	10.急変・事故発生時の対応と事前対策	1.0.
			<p style="text-align: center;">第2章 高齢者及び障害者・児の経管栄養実施手順解説</p> 1.経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔と保持	1.0.
		12:10	2.経管栄養の技術と留意点①	1.0.
		昼食60分		
		13:10	2.経管栄養の技術と留意点① 3.経管栄養に必要なケア	2.0. 1.0.
		17:20	4.報告および記録	1.0.
第8日目	6月21日 (木)	9:00	オリエンテーション 筆記試験及び演習実施について	
		10:00	<p style="text-align: center;">《第Ⅱ部》 第2章 喀痰吸引実施手順解説</p> 2.吸引の技術と留意点②	2.0.
		12:00	デモンストレーション演習実施(口腔内の喀痰吸引)	
		昼食60分		
		13:00	<p style="text-align: center;">《第Ⅲ部》 第2章 経管栄養実施手順解説</p> 2.経管栄養の技術と留意点②	2.0.
		15:00	デモンストレーション演習実施(胃瘻による経管栄養)	

(演 習)

月日	時間	グループ	実地ケアの種類	実施回数
6月26日 (火曜日)	開始 9:00~ 最終 ~17:00	①グループ	たん吸引(口腔内)	5回以上
6月27日 (水曜日)		②グループ	たん吸引(鼻腔内)	5回以上
6月28日 (木曜日)		③グループ	たん吸引(気管カニューレ内部) 経管栄養(胃ろう又は腸ろう)	5回以上
6月29日 (金曜日)		④グループ	経管栄養(経鼻経管)	5回以上

※ 演習は4グループに分かれて実施となりますので、受講決定通知時にグループ名をお知らせします。

※ 演習時間は、個人の技術習得度等により終了時間が変わる場合があります。

7月2日 (月)	9:00 10:00	筆記試験	60分
-------------	-------------------	------	-----

※ 受付は、8:30開始です。

※ 再試験(有料)は、7月5日(水曜日)9時開始予定です。

【 実 地 研 修 】

基本研修全課程終了後、実地研修実施機関にて下記の実地研修を所定回数行います。

実地研修期間は、基本研修全課程終了日から概5カ月間を予定しています。

科 目		所定回数	備 考
喀痰 吸引	口腔内吸引	10回以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1号研修対象は、全5行為を実施 ・ 第2号研修対象は、任意の行為を実施
	鼻腔内吸引	20回以上	
	気管カニューレ内部吸引	20回以上	
経管 栄養	胃ろう又は腸ろう	20回以上	
	経鼻経管	20回以上	

平成30年度 基本研修(第二回)カリキュラム日程表

【基本研修】

(講義)

会場:介護老人保健施設 ひまわり 会議室 又は 東苗穂病院 会議室

月 日	時 間	科 目		時間数 (h)	
		大 項 目	中 項 目		
第1日目 10月3日 (水)	9:00	◇ 受付	名札配布・テキスト販売		
	9:30	◇ オリエンテーション	受講に当たっての留意事項(資料配布)		
	10:30	《第I部 総論》 第1章 人間と社会			
		1.介護職員と医療的ケア		0.5	
	12:00	2.介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係わる制度		1.0.	
	昼食60分				
	13:00	第2章 保健医療制度とチーム医療			
	1.保健医療に関する制度		1.0.		
	2.医療的行為に係る法律		0.5		
15:00	3.チーム医療と介護職員との連携		0.5		
	第3章 安全な療養生活				
17:10	1.喀痰吸引や経管栄養の安全な実施		2.0.		
第2日目 10月4日 (木)	9:00	第4章 清潔保持と感染予防			
		1.感染予防		0.5	
		2.職員の感染予防		0.5	
		3.療養環境の清潔、消毒法		0.5	
		4.滅菌と消毒		1.0.	
		第5章 健康状態の把握			
12:40	1.身体・精神の健康	講義	1.0.		
昼食60分					
13:40	《第I部 総論》 第1章 人間と社会				
	第3章 安全な療養生活				
17:20	2.救急蘇生法(演習)		2.0. (1回以上)		
第3日目 10月5日 (金)	9:00	第5章 健康状態の把握			
		2.健康状態と知る項目 (バイタルサインなど)		1.5	
		3.急変状態について		0.5	
		《第II部 喀痰吸引》			
		第1章 高齢者及び障害者・児の喀痰吸引概論			
	12:40	1.呼吸のしきみとはたらき		1.5	
	昼食60分				
13:40	2.いつもと違う呼吸状態		1.0.		
	3.喀痰吸引とは		1.0.		
	6.吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応説明と同意		0.5		
17:20	7.呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)		1.0.		

第4日目	10月9日 (火)	9:00	4.人工呼吸器と吸引	2.0.	
		12:10	5.子どもの吸引について	1.0.	
		昼食60分			
		13:10	8.喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認	1.0.	
		16:20	9.急変・事故発生時の対応と事前対策	2.0.	
第5日目	10月10日 (水)	9:00	第2章 高齢者及び障害者・児の喀痰吸引実施手順解説 1.喀痰吸引で用いる用具・器材とそのしくみ、清潔の保持 3.喀痰吸引に伴うケア	1.0. 1.0.	
		12:10	4.報告および記録	1.0.	
		昼食50分			
		13:00	2.吸引の技術と留意点①	3.0.	
		17:40	1.消化器系器官のしくみとはたらき	1.5	
		<p style="text-align: center;">《第Ⅲ部 経管栄養》</p> <p style="text-align: center;">第1章 高齢者及び障害者・児の経管栄養概論</p>			
第6日目	10月11日 (木)	9:00	2.消化・吸収とよくある消化器の症状 3.経管栄養とは	1.0. 1.0.	
		12:10	4.注入する内容に関する知識	1.0.	
		昼食50分			
		13:00	5.経管栄養実施上の留意点 6.子どもの経管栄養について 7.経管栄養に関する感染と予防 8.経管栄養を受ける利用や家族の気持ちと対応、説明と同意	1.0. 1.0. 1.0. 0.5	
		17:40	9.経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認	1.0.	
第7日目	10月15日 (月)	9:00	10.急変・事故発生時の対応と事前対策	1.0.	
		第2章 高齢者及び障害者・児の経管栄養実施手順解説			
		12:10	1.経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔と保持 2.経管栄養の技術と留意点①	1.0. 1.0.	
		昼食60分			
		13:10	2.経管栄養の技術と留意点① 3.経管栄養に必要なケア	2.0. 1.0.	
		17:20	4.報告および記録	1.0.	
第8日目	10月16日 (火)	9:00	オリエンテーション 筆記試験及び演習実施について		
		10:00	《第Ⅱ部》第2章 喀痰吸引実施手順解説		
		12:00	2.吸引の技術と留意点② デモンストレーション演習実施(口腔内の喀痰吸引)	2.0.	
		昼食60分			
		13:00	《第Ⅲ部》第2章 経管栄養実施手順解説		
		15:00	2.経管栄養の技術と留意点② デモンストレーション演習実施(胃瘻による経管栄養)	2.0.	

(演 習)

月日	時間	グループ	実地ケアの種類	実施回数
10月18日 (木曜日)	開始 9:00~ 最終 ~17:00	①グループ	たん吸引(口腔内)	5回以上
10月19日 (金曜日)		②グループ	たん吸引(鼻腔内)	5回以上
10月22日 (月曜日)		③グループ	たん吸引(気管カニューレ内部) 経管栄養(胃ろう又は腸ろう)	5回以上
10月23日 (火曜日)		④グループ	経管栄養(経鼻経管)	5回以上

※ 演習は4グループに分かれて実施となりますので、受講決定通知時にグループ名をお知らせします。

※ 演習時間は、個人の技術習得度等により終了時間が変わる場合があります。

10月26日 (金)	9:00 10:00	筆記試験	60分
---------------	-------------------	------	-----

※ 受付は、8:30開始です。

※ 再試験(有料)は、10月29日(月曜日)9時開始予定です。

【 実 地 研 修 】

基本研修全課程終了後、実地研修実施機関にて下記の実地研修を所定回数行います。

実地研修期間は、基本研修全課程終了日から概5カ月間を予定しています。

科 目		所定回数	備 考
喀痰 吸引	口腔内吸引	10回以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1号研修対象は、全5行為を実施 ・ 第2号研修対象は、任意の行為を実施
	鼻腔内吸引	20回以上	
	気管カニューレ内部吸引	20回以上	
経管 栄養	胃ろう又は腸ろう	20回以上	
	経鼻経管	20回以上	

H30.1.24作成

※第1回(5月日)・第2回(8月日)・第3回(11月日)とも共通になりま

時 間	内 容	
8:30～	受付	1)10分 2)10分
9:00～ 9:30 (30分)	オリエンテーション	3)と・ 10分
9:30～10:00 (30分)	筆記試験 ○×問題80問(基本研修の半量)	回収後の 休憩でトイ レと自己採 点を促す
10:00～10:15	休憩(自己採点)	
10:15～12:00 (105分)	【講義】 1)保健医療体制とチーム医療 2)安全な療養生活 3)清潔保持と感染予防 4)健康状態の把握 * 試験結果を踏まえた学習	1)20分 2)30分 3)30分 4)25分
12:00～13:00	休憩	
13:00～15:00 (120分)	【演習 ① ヒヤリハット事例演習】 * 喀痰吸引及び経管栄養の ヒヤリハット事例を通して考える 1)ヒヤリハットの発生要因 2)ヒヤリハット防止の確認・観察要点 3)医療職との連携の実際	1)鼻胃40 分 要因示し予 防策伝える 2)鼻25分 胃25分観 察項目の 観察法と判 断 3)30分
15:00～15:10	休憩	
15:10～17:10 (120分)	【演習 ② シュミレータによる演習】 1)喀痰吸引・経管栄養の実施手順確認 2)喀痰吸引演習(口腔内・鼻腔内吸引) 3)経管栄養演習(胃瘻による経管栄養) 演習は全員が各行為を1回以上体験する	口・鼻・胃 の演習手 順を1回 やって見せ 留意点を 記録させる ※残り時間 を鼻と胃で 分けて実 施・時間あ

質問は実践の
中で受ける

修のみ(基本研修免除)の研修日程

実施内容

-
- 1) 日程: 本日・演習・(当法人実施者限定)実践デモと実地の進め方
*配布の評価基準により観察項目と手順を覚えて演習に臨むこと
 - 2) 制度: 受講対象要件の意味・認定証取得手順
 - 3) 認定者の責務: 継続学習
(医法人: 実施業務手当)
-

・40問○×問題: 自己点確認
全体の祭典結果全員に通知(個別不明)知識と技能の忘却を認識させ継続学習の自覚促す

- 1) 制度: 登録事業者要件: 教育
 - 2) 潜むリスク内容と怖さ=医行為の負の影響●確かな技術と適正判断の知識ex.k吸引で取れないのに悪化ある!
 - 3) 感染のリスクは日常生活の中にある
清潔操作の重要性
 - 4) 日常を知るものがより正確な観察と適正な判断・報告の重要性
※医療は変化(進歩)するものという認識を持つ
-

- 1) 鼻腔内吸引と胃瘻手順を基に潜むヒヤリハットを知り、予防法を考える
※評価基準に書き込ませる
 - 2) 実際の観察法と判断
 - 3) 医療職との連携の実際: フラットな関係の中で職種別の視点を大切にして役割を果たす
(日常の情報共有方法・報告の重要性と実際)
-

・手順書確認を読みながら説明する(口・胃重点に、鼻は違いのみ伝える)
※気管内・経鼻経管がいる場合は、ポイントのみ伝える=鼻と同様扱い
※一人1回は体験するが人数により
口と胃を優先し、余裕があれば他の行為も実施する
